

令和7年度からの 次期「東社協 中期計画」策定ニュース

vol.01

東京都社会福祉協議会 総務部企画担当

7年度より推進する次期「東社協中期計画」を策定します

東京都社会福祉協議会（以下、東社協）では今年度、この3か年で推進してきた「令和4～6年度 東社協中期計画」の最終年度を迎えます。そこでこれまでの取組みや推進状況をふまえ、令和7年度からの次期「東社協中期計画」の検討をスタートさせました。

改めて、ネットワーク組織としての東社協らしい会員・関係者との協働の計画となるよう、会員向けアンケートや取組みのヒアリング等を実施しながらすすめます。このニュースを通じ、会員の皆様に策定・検討状況を共有していきます。ご協力をお願いいたします。

次期「東社協中期計画」の策定方針

次期中期計画の策定方針は、これまでも中期計画の策定・推進について助言をいただいていた、総合企画委員会（委員長：ルーテル学院大学名誉教授 市川一宏氏。会長の諮問機関）でのご意見等をふまえて決めました。次期計画は、令和7～11年度の5年を計画期間とし、ネットワーク組織である東社協の特徴を十分に活かした、会員や関係機関の協働の「取組みの柱」を示していくこととします。またそのために会員や関係機関の皆様と、現状や課題を共有していくプロセスを重視して策定をすすめていきます。

1 中期計画の位置づけ

⇒会員・関係機関との協働をすすめる計画に

ネットワーク組織として会員・関係機関との協働の計画に。課題や現状、取組み等のヒアリングを検討や協働の出発点とする。

2 中期計画の性格

⇒求められる取組みの柱や視点を示す

「取組みの柱や視点」を共有し、具体的には毎年度の事業計画で取り組む。関連する各部会や担当の事業を共有し、協働を図る。評価は事業ごとでなく、取組みの柱ごとに全体評価していく。

3 ふまえるべき情勢

⇒東京都地域福祉支援計画等、他の計画との連動を意識する

東京都や全社協の計画、東社協の地域公益活動推進協議会や都民連の計画等との連動を意識。令和9年度に中間見直し実施予定。

4 めざすべき地域社会の姿や取組みの方向性

⇒これまでを継承し東社協の役割を改めて意識

基本的に継承する東社協のビジョンや具体的な地域のイメージは下図のとおり。

東社協のめざすもの

『東京らしい多様性を活かした
地域共生社会』

個別支援

地域づくり

この循環で解決と予防をめざす

多様で幅広い協働

◆具体的な地域のイメージ

- 01 多様な暮らしを認め合い、気づき育ちあえる地域
- 02 誰もがライフステージに見通しをもって暮らせる地域
- 03 一人ひとりの権利が尊重され、安心を高め続ける地域
- 04 専門機関から住民までが協働して福祉基盤を作り上げる地域
- 05 地域課題の解決に必要な取組みを開発する地域

アンケートへのご協力をお願いします

次期「東社協中期計画」の策定にあたり、東社協に関わる皆様より、東社協という場を使い、ともに考え、広げていきたい取り組みやその背景にある問題意識等を教えていただきたいと考えています。

東京の福祉の未来を見据えて、共通する「取り組みの柱」を見出し、共有を図りながら、共に協働した取り組みをすすめていきたいと考えています。ぜひご協力ください。

「次期『東社協中期計画』の策定に向けたアンケート」

設問・回答フォームはこちら！

<https://form.run/@toushakyo-chuukikeikaku>

10分ほどでお答えいただけるアンケートです。

会員の皆様からのご回答をお願いします。〆切：8月31日（土）

会員の皆様
対象



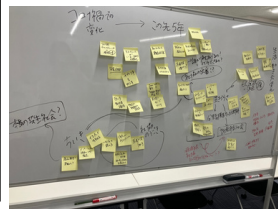
東社協事務局 局内ワーキングから

5月に東社協の各部室および企画調整会議（管理職会議）の推薦で、管理職を含む職員からなる局内ワーキングを設置。総務部企画担当が事務局となり、月1回程度集まり、検討や策定作業をすすめています。

ヒアリングは局内ワーキングのメンバーが分担して実施させていただきます。



第1回ワーキング（6/5開催）の様子



初回は策定方針を確認し「この先5年間で想定される社会・地域の変化」について意見交換しました。

【現「令和4～6年度 東社協中期計画」の概要と推進状況】

「東京の多様性を活かした“地域共生社会”を一步前へ」をキャッチフレーズに、「東社協がめざすビジョン（地域社会の姿）」＜図1＞の実現に向け、「取り組みの方向性」＜図2＞を定め、15の「重点事業」を推進しています。

	長期的な取り組みの方向性	特にこの3か年での取り組みの方向性
1	自立生活を支援するためのしくみづくり	コロナ禍において、生活が困窮することでより深刻な状況となる社会的孤立を防ぐ取り組みを推進する。
2	福祉人材の確保・育成・定着の推進	① 転職者等の未経験者を福祉職場に積極的に導く取り組みを推進する。 ② 誰もが働きやすい職場環境づくりを推進する。
3	社会福祉法人等の役割発揮、機能の強化	
4	幅広い市民参加・多様な主体の協働の推進による地域づくり	地域課題や社会課題の解決につながる多様な主体のネットワークをつくり、そのしくみを活かした取り組みを推進する。
5	災害に備えた取り組みの推進	人材育成やネットワークの強化に取り組み、発災時に機能するセンター運営体制の整備を推進する。
6	社会福祉に関する理解の促進	① 福祉を取り巻く現状や課題とそれに対応する実践を可視化し、その重要性や価値の発信を強化する。 ② 誰でも参加でき、福祉が身近に感じられる取り組みを推進する。

（全般に現況をふまえて考慮すべき点）
新型コロナウイルスの感染拡大の社会への影響が続くことを想定し、状況を的確に捉えた取り組みを推進する。

めざすべき地域社会の姿

東社協がめざすビジョン

東京の多様性を活かし、
それぞれの
地域生活課題を主体的に
解決できる地域社会

一人ひとりが
安心して
見通しを持って
暮らせる

誰もが福祉力を
高めることで、
地域の課題を主体的に
解決できる

＜図1＞

Pick up!

重点事業

- ▶ 重層的支援体制整備事業のしくみを活かした地域づくりをすすめるコーディネーターの活動推進と、権利擁護との連携
 - ▶ 外国人材も含む福祉人材の確保・育成・定着に関する実態調査の実施
 - ▶ 社会福祉法人の地域ネットワークの機能・活動支援等を通じた地域公益活動の強化
 - ▶ 災害時広域支援体制の検討、強化
- など、「取り組みの方向性」に沿った15の重点事業をすすめています。

* 現行の中期計画の詳細は、東社協ホームページ上でご覧いただけます。

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/hojin/3kanen/index.html>



＜図2＞